

特定施設の設置・~~変更~~事前評価書

(汚濁負荷量が減少又は現状維持の場合)

申請人 (所在地) 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
(名称) 住友化学株式会社
(代表者の氏名) 代表取締役社長 水戸 信彰

1. 許可申請の概要

(1) 設置(変更)しようとする特定施設

① Z-713 ろ過施設

特定施設の種 類	第46号ろ 過施設						
特定施設の能力	12.0m ³ /日						
工事の着手予定年月日	許可後直ちに						
工事の完成予定年月日	着手3か月後						
使用開始の予定年月日	完成後直ちに						
排出される汚水等の汚染状態及び量	項目	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P
	通常	2~3	—	63,000	650	1,900	120
	最大	2~3	—	94,500	975	2,850	180
排出される汚水等の量	通常	5.0			最大	7.5	

注) 水量の単位: m³/日、汚染状態の単位: pH 以外は mg/l

※排水は、シアン排水処理設備(北特排)、酸素曝気式活性汚泥処理施設(OBT)で処理後、西総合排水路、No.3遊水池経由で西総合排水口から公共用水域へ。

(2) 汚水等の処理施設

① NBT 新居浜総合排水処理施設

設 置 年 月 日	昭和47年 5月12日									
工事の着手予定年月日	—年—月—日									
工事の完成予定年月日	—年—月—日									
使用開始の予定年月日	—年—月—日									
処 理 施 設 の 種 類	中和・凝集沈殿・散気式活性汚泥									
処 理 施 設 の 構 造	鉄筋コンクリート製									
処 理 施 設 の 型 式	中和・凝集沈殿・散気式活性汚泥									
処理施設の主要寸法	縦127m×横85m×高さ6.7m									
処 理 施 設 の 能 力	24,000m ³ /日									
汚水等の処理の方法	散気式活性汚泥処理									
処理施設の使用方式	連続									
処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 値及び量 (変更後)	処 理 前	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	14,911	7.0~8.0	—	545.9	590.7	617.3	30.2	
		最大	17,943	6.0~9.0	—	1,242.1	862.1	717.6	68.9	
	処 理 後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	14,911	7.0~8.0	—	112.9	29.0	249.1	4.4	
		最大	17,943	6.6~8.7	—	184.2	69.6	249.1	11.5	
処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 値及び量 (変更前)	処 理 前	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	14,911	7.0~8.0	—	547.1	590.7	617.3	30.2	
		最大	17,943	6.0~9.0	—	1,242.1	862.1	717.6	68.9	
	処 理 後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	14,911	7.0~8.0	—	113.2	29.0	249.1	4.4	
		最大	17,943	6.6~8.7	—	184.2	69.6	249.1	11.5	

注) 水量の単位: m³/日、汚染状態の単位: pH 以外は mg/l

②OBT 酸素曝気式活性汚泥処理施設

設置年月日	平成21年 1月31日									
工事の着手予定年月日	年 月 日									
工事の完成予定年月日	年 月 日									
使用開始の予定年月日	年 月 日									
処理施設の種類	中和・酸素曝気式活性汚泥・凝集・沈殿									
処理施設の構造	鉄筋コンクリート製									
処理施設の型式	中和・酸素曝気式活性汚泥・凝集・沈殿									
処理施設の主要寸法	縦160m×横71m×高さ6.3m									
処理施設の能力	10,800 m ³ /日									
汚水等の処理の方法	酸素曝気式活性汚泥処理									
処理施設の使用方法	24時間連続									
処理施設による処理前及び処理後の汚水等の値及び量 (変更後)	処理前	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	8,439	8~12	—	642.7	251.9	980.8	9.9	
		最大	10,178	8~12	—	1,162.6	881.5	1,500.2	31.9	
	処理後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	8,439	7~8	—	127.3	18.3	178.2	2.2	
		最大	10,178	6.6~8.7	—	287.7	71.4	212.3	5.4	
処理施設による処理前及び処理後の汚水等の値及び量 (変更前)	処理前	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	8,619	8~12	—	629.1	245.5	959.0	9.7	
		最大	10,200	8~12	—	1,162.6	881.5	1,500.2	31.9	
	処理後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		通常	8,619	7~8	—	124.7	18.0	174.7	2.2	
		最大	10,200	6.6~8.7	—	287.7	71.4	212.3	5.4	

注) 水量の単位: m³/日、汚染状態の単位: pH 以外は mg/l

③シアン排水処理設備（北特排）

設置年月日	昭和60年 3月30日									
工事の着手予定年月日	—年—月—日									
工事の完成予定年月日	—年—月—日									
使用開始の予定年月日	—年—月—日									
処理施設の種類	攪拌機付コンクリート槽									
処理施設の構造	鉄筋コンクリート製									
処理施設の型式	攪拌機付コンクリート槽									
処理施設の主要寸法	縦4m×横4m×高さ4m×4槽									
処理施設の能力	2,400 m ³ /日									
汚水等の処理の方法	晒液酸化分解処理									
処理施設の使用方法	連続									
処理施設による処理前及び処理後の汚水等の値及び量 (変更なし)	処 理 前	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	T-CN
		通常	1,834	9.5~10.5	—	1344.7	45	531	0.01	117
	処 理 後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	T-CN
		通常	1,845	9.5~10.5	—	1336.8	45	529	0.01	5
	処 理 後	項目	水量	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	T-CN
		最大	2,380	9~12	—	1859.0	77	633	0.01	10

注) 水量の単位：m³/日、汚染状態の単位：pH 以外は mg/l

(3) 許可申請の概要及び理由

本件は、新居浜地区の多目的製造プラント（以下、BPプラント）における設置申請（高経年化更新）である。

既存の特定施設は、撤去後に廃止届を提出する。

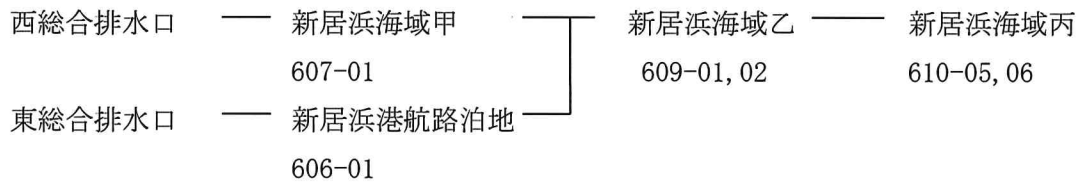
本申請の特定施設からの排水量等に変更はなく、また当該施設における有害物質の使用等はないが同時に提出する変更許可申請により公共用水域へ排出される排水量等は、減少する。

2. 排水口の位置及び数

36カ所 ・別添1参照（内 雨水排水口：34箇所）

3. 周辺公共水域の範囲及び環境基準

(1) 周辺公共用水域の範囲 （別添2参照）



(2) 水質環境基準の類型指定状況

pH、COD等

項目 \ 水域名	新居浜 海域甲 607-01	新居浜港 航路泊地 606-01	新居浜海域乙 609-01, 02	新居浜海域丙 610-05, 06
環境基準	C		B	A
達成期間	5年以内	直ちに達成	5年以内	5年以内

全窒素、全燐

水 域	該当類型	達成期間
燧灘東部	Ⅱ	直ちに達成
燧灘北西部	Ⅱ	直ちに達成
燧灘中西部	Ⅱ	直ちに達成

4. 排水水の汚染状態及び量

項目	区分	西総合排水口				東総合排水口			
		変更後		変更前		変更なし			
		通常値	最大値	通常値	最大値	通常値	最大値		
pH		6.6~8.7	5.5~8.8	6.6~8.7	5.5~8.8	6.6~8.7	5.5~8.8		
BOD (mg/l)		—	—	—	—	—	—		
COD (mg/l)		14.4	35.0	14.5	35.0	9.33	20.0		
SS (mg/l)		29.0	70.0	29.0	70.0	21.0	60.0		
T-N (mg/l)		24.6	100.0	25.1	100.0	6.0	10.0		
T-P (mg/l)		0.57	3.00	0.57	3.00	0.50	1.00		
排水量 (m3/日)		238,248	320,191	238,668	320,611	20	20		

5. 汚濁負荷量の比較

項目	区分	西総合排水口				東総合排水口			
		変更後		変更前		変更なし			
		通常値	最大値	通常値	最大値	通常値	最大値		
BOD (kg/日)		—	—	—	—	—	—		
COD (kg/日)		3432.4	4612.9	3467.2	4657.7	0.2	0.2		
SS (kg/日)		6909.4	9285.9	6929.2	9308.3	0.4	0.4		
T-N (kg/日)		5857.0	7871.5	5992.5	8049.9	0.1	0.1		
T-P (kg/日)		135.27	181.80	136.80	183.77	0.01	0.01		

(減少または現状維持の理由)

本申請の特定施設からの排水量等に変更はなく、また当該施設における有害物質の使用等はないが同時に提出する変更許可申請により公共用水域へ排出される排水量等は、減少する。

6. その他参考事項

なし

○人の健康の保護に関する環境基準

項目名	基準値	項目名	基準値
カドミウム	0.003mg/l 以下	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/l 以下
全シアン	検出されないこと。	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l 以下
鉛	0.01mg/l 以下	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l 以下
六価クロム	0.02mg/l 以下	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l 以下
砒素	0.01mg/l 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/l 以下
総水銀	0.0005mg/l 以下	チウラム	0.006mg/l 以下
アルキル水銀	検出されないこと。	シマジン	0.003mg/l 以下
P C B	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02mg/l 以下
トリクロロエチレン	0.01mg/l 以下	ベンゼン	0.01mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/l 以下	セレン	0.01mg/l 以下
四塩化炭素	0.002mg/l 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l 以下
ジクロロメタン	0.02mg/l 以下	ふっ素	0.8mg/l 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l 以下	ほう素	1mg/l 以下
1,4-ジオキサン	0.05 mg/l 以下	ダイオキシン類	1pg-TEQ/l 以下

(備考) 海域については「ふっ素」及び「ほう素」の基準値は適用しない。

○生活の保全に関する環境基準

項目 類型	利用目的の適応性	pH	COD	溶存酸素量	大腸菌数	n-ヘキサン 抽出物質
A	水産1級 水浴 自然環境保全及び B以下の欄に掲げるもの	7.8~8.3	2 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	300CFU/100ml 以下	検出されないこと。
B	水産2級 工業用水 及びCの欄に掲げるもの	7.8~8.3	3 mg/l 以下	5 mg/l 以上	—	検出されないこと。
C	環境保全	7.0~8.3	8 mg/l 以下	2 mg/l 以上	—	—

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全燐
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.2 mg/l 以下	0.02 mg/l 以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.3 mg/l 以下	0.03 mg/l 以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの(水産3種を除く。)	0.6 mg/l 以下	0.05 mg/l 以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1 mg/l 以下	0.09 mg/l 以下

項目 類型	水生生物生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	水生生物の生息する水域	0.02mg/l 以下	0.001 mg/l 以下	0.01 mg/l 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は 幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/l 以下	0.0007mg/l 以下	0.006mg/l 以下

※環境基準点調査 別添2参照

採水 地点	項目	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	油分 (mg /l)	大腸菌数 (CFU/100ml)	全窒素 (mg/l)	全燐 (mg/l)
ST-6(A) 610-05	最小~最大 平均	8.1~8.3	7.7~11 9.1	1.4~2.6 1.9	—	<1~<1 <1	0.12~0.73 0.26	0.014~0.026 0.020
ST-7(B) 609-01	最小~最大 平均	8.1~8.3	8.0~10 9.3	1.5~3.2 2.2	<0.5	—	—	—
ST-8(C) 606-01	最小~最大 平均	8.1~8.5	8.1~12 9.8	1.4~4.1 2.2	—	—	—	—
ST-10(C) 607-01	最小~最大 平均	7.9~8.3	6.9~10 9.1	1.3~3.6 2.2	—	—	—	—
ST-9(B) 609-02	最小~最大 平均	8.1~8.3	7.7~10 9.3	1.4~3.1 2.1	<0.5	—	—	—
ST-12(A) 610-06	最小~最大 平均	8.1~8.3	7.8~11 9.3	1.4~2.8 2.0	—	<1~<1 <1	0.14~0.24 0.18	0.015~0.023 0.018

調査機関 愛媛県

調査期間 令和5年4月~令和6年3月

